



**観察小屋**  
 おおの自然観察の森にいる鳥の生態を、鳥たちに気づかれぬように観察するための小屋です。野鳥たちから人間の姿を隠すための小屋ですから、中は暗くしてあります。足元にはご注意ください。



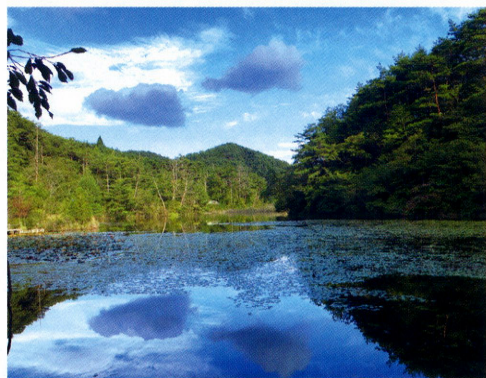
ルリビタキ

## 見てみませんか、森と湖のハーモニー。 聞いてみませんか、鳥のメロディー。

**水辺の道**  
 水辺のウォッチングが楽しめるのが「水辺の道」です。ゆっくりと散策しながら、森や湿地などをくまなく観察できるように、自然観察路も設けられています。



**ハッチョウトンポの湿地**  
 ハッチョウトンポは、日本で一番小さいトンポです。全長18ミリの5月中旬頃から8月いっぱいくらいまでここで見られます。また、湿地ならではの草花たち、モウセンゴケやミミカキグサなど可憐な姿も見受けられます。

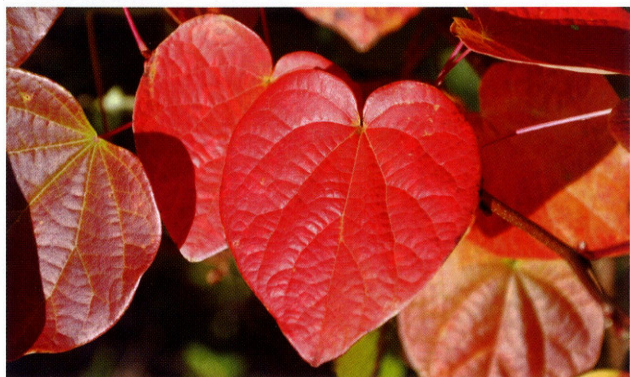


**北岸広場からの景観**  
 ここからは、ハッチョウトンポの湿地などベニマンサク湖の全貌が見渡せます。湖畔には、四季折々に美しい草花が咲きそろう、自然の景観が楽しめます。周辺の道を静かに散策しながらの森林浴はいかがでしょう。

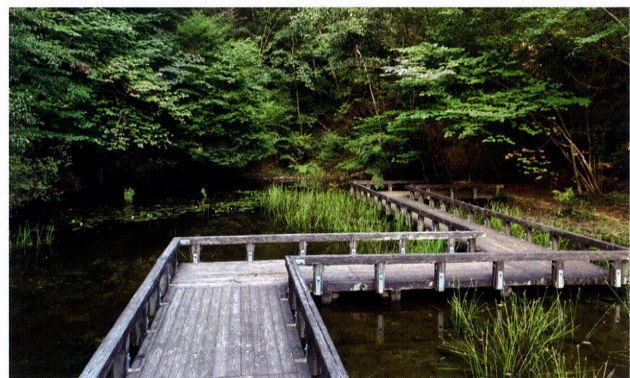


ベニマンサクの花

**ベニマンサクの広場**  
 ベニマンサク湖一帯に群生するベニマンサクは、広島県天然記念物に指定されています。ハート型の葉は見るからにやわらかく、芽だしから秋の紅葉まで様々な色合いを見せてくれます。10月中旬から鮮やかな紅色に変わり、周囲の木々にさきがけて秋の交響曲が始まります。



**モリアオガエルの池**  
 モリアオガエルは、「森のカエル」でいつもは森の木の上に棲んでいます。5月後半から梅雨の期間中産卵のために池にやってきます。ひと夏に計1000個程の泡の塊が産みつけられます。



ハッチョウトンポ



**自然観察センター**  
 美しいベニマンサク湖の全景を一望できる湖の東岸にあります。玄関を入ると写真パネル等の展示物があり、その奥の観察室には望遠鏡があり、ベニマンサク湖で遊ぶ鳥や生物、湖面の様子を眺めることができます。

